



# 日本缶詰びん詰レトルト食品協会ニュースリリース

平成 28 年 12 月吉日

## 児童養護施設への缶詰等寄贈活動で感謝状

～16年間で延べ800施設へ694,351個の缶詰、びん詰、レトルト食品を寄贈～  
公益社団法人日本缶詰びん詰レトルト食品協会

公益社団法人日本缶詰びん詰レトルト食品協会（東京都千代田区／会長：西秀訓）では、会員・賛助会員企業の協力を得て平成11年度より、全国の児童養護施設に対して缶詰、びん詰、レトルト食品の寄贈活動を行ってきた。この度、この活動が評価され、社会福祉法人全国社会福祉協議会・全国児童養護施設協議会より、平成28年11月15日に開催された第70回全国児童養護施設長研究協議会の席上にて感謝状の授与を受けた。16年間の寄贈施設数は延べ800施設、協力企業数延べ1,372社、缶詰、びん詰、レトルト食品寄贈数は694,351個にのぼる。

児童養護施設は全国に603箇所あり、入所理由には、「行方不明・死亡」「両親の離婚」「母子家庭・父子家庭」「養育が困難」など何らかの事情で両親が扶養義務を果たせなくなった子供が入居している。入居者は0歳から20歳までの子供で、その数は3万余人となっている（平成28年11月現在。全国児童養護施設協議会調べ）。児童養護施設には公営、民間の施設があるが、とくに民間の施設においては、運営資金に困窮しているところが少なくない。日本缶詰びん詰レトルト食品協会は、このような事情にある児童養護施設へ「日常食としても保存食としても重宝な食品」である、缶詰、びん詰、レトルト食品を寄贈することでいささかの役に立ちたいとの考えのもとに、寄贈活動を実施してきた。

なお、平成28年度以降についても缶詰業界の行う社会貢献活動として引き続き実施を計画している。

16年間の活動実績は以下のとおり。

寄贈年度	寄贈企業数	寄贈児童養護施設数	個数
平成27(2015)年度	84社	50施設	42,797
平成26(2014)年度	83社	50施設	38,839
平成25(2013)年度	83社	50施設	35,157
平成24(2012)年度	91社	50施設(乳児院15施設)	65,855
平成23(2011)年度	83社	50施設(乳児院1施設)	59,761
平成22(2010)年度	80社	50施設(乳児院1施設)	32,010
平成21(2009)年度	90社	50施設(乳児院6施設)	40,000
平成20(2008)年度	78社	50施設(乳児院1施設)	35,908
平成19(2007)年度	94社	50施設(乳児院1施設)	41,996
平成18(2006)年度	91社	50施設(乳児院17施設)	42,508
平成17(2005)年度	96社	50施設(乳児院3施設)	43,203
平成16(2004)年度	92社	50施設(乳児院1施設)	42,712
平成15(2003)年度	97社	50施設(乳児院71施設)	57,482
平成14(2002)年度	92社	50施設	45,405
平成13(2001)年度	87社	50施設	38,723
平成11(1999)年度	51社	50施設	31,995
合計(述ベ*)	1,372社*	800施設(乳児院117施設)*	694,351



# 日本缶詰びん詰レトルト食品協会ニュースリリース



- 名 称 : 公益社団法人 日本缶詰びん詰レトルト食品協会
- 所 在 地 : 東京都千代田区神田東松下町 10-2 翔和神田ビル 3F  
(TEL.03-5256-4801 FAX.03-5256-4805)
- 役 割 : 日本缶詰びん詰レトルト食品協会は、「缶詰、びん詰、レトルト食品の安全性の確保と品質の向上を図るために、必要な事項についての研究・調査、技術開発、指導及び普及啓発を行い、もって国民の豊かな食生活の実現と国民経済の健全な発展に寄与すること」を目的として組織されている団体。  
したがって、缶詰、びん詰、レトルト食品業界の指導的役割を果たしていると同時に、具体的な事業を通じて企業と行政当局や消費者をそれぞれにつなぐパイプの役割も果たしている。
- 会 長 : 西 秀訓 (カゴメ株式会社 取締役会長)
- 会 員 数 : 会員 277 社・賛助会員 93 社、合計 370 社 (11 月末現在)
- 本件の問い合わせ先 : 公益社団法人日本缶詰びん詰レトルト食品協会  
業務部 藤崎 fujisaki@jca-can.or.jp